

《和歌山市学校教育指針》
 ○確かな学力の育成
 ○道徳教育の充実
 ○健やかな体の育成
 ○特別支援教育の推進
 ○不登校・いじめ問題の解消
 ○子供の安全確保の徹底
 ○地域と共にある学校づくりの推進

《保護者・地域の願い》
 ○学校の様子や情報をもっと発信してほしい。
 ○地域との交流をさらに活発できればよい。
 ○道徳教育は大切であるので、今後もきちんと取り組んでほしい。
 ○四箇郷の子供の教育を、不易と流行の観点でも進めてほしい。

【 学校教育目標 】

社会を生き抜く力を備えた子供を育てる

【めざす児童像】

- 1年:だれとでもなかよくできる子
- 2年:なかよくたすけあう子
- 3年:よく考え、助け合う子
- 4年:助け合い、ともに伸びる子
- 5年:自分で考え、進んで行動する子
- 6年:責任をもって意欲的に行動する子

《前年度の学校評価》
 ○数値に表れるまでは簡単にはいかないが、今後も学力向上について粘り強く取り組んでほしい。
 ○いじめとともに、不登校や虐待についても今後も継続的に取り組んでほしい。
 ○児童や保護者の様子や状況を、学校と地域が共有する必要がある。

《児童の実態》
 ○言葉づかいは少し乱暴であっても思いやりがあり、素直で明るく活動的である。
 ○学習面・生活面共に支援を必要とする児童もいる。
 ○学習に対する意欲に乏しい児童も見られるが、課題や宿題に対して真摯に取り組む児童も増えてきている。

重点 目標	<p>開かれた学校 ◎学校だより・ホームページの発行・更新を通して、学校の情報を発信していく。 ○地域の人たちとの交流を計画的・積極的に進める。</p>	<p>ゆたかな心 ◎図書館教育の推進を継続する。 ○道徳教育を計画的に進める。 ○豊かな体験活動の充実を図る。</p>	<p>確かな学力 ◎長期的な視点と短期的な取り組みを整理し戦略的に進めていく。</p>	<p>安全の確保 ◎児童の安全確保のために、計画的かつ能動的な体制を構築する。</p>
具体的 な取 り組 み	<p>○校長の思いや願い、学校の方針や考えを学校だよりに掲載することで、保護者の学校への関心を高めるとともに、理解と協力を得られるようにする。 ○本校の公開指標に則して、ホームページを適宜更新していく。 ○開放月間の目的を積極的に告知して来校者を増やす。 ○保護者・地域の方に学校へのボランティア活動を依頼するとともに、校長自らが積極的にコミュニケーションを図っていく。</p>	<p>○これまでのノウハウを生かして学校図書館の環境づくりを継続し、読書活動の充実・推進を図る。 ○本校の重点目標と道徳の教科書のそれとを勘案し、「心のとびら」も活用しながら年間計画に沿って進めていく。 ○学校や家庭、地域の場において、児童が体験活動を行えるように工夫する。 ○清掃活動やあいさつ運動を大切にする。</p>	<p>○学力向上を観点・視点にした研究授業を進める。 ○算数を中心に学年でそろえたノート指導を徹底する。 ○児童や保護者の学習調査に対する意識を変えていく。 ○生徒指導・学級経営とリンクした学習指導を行う。 ○市や県からの配付・配信されたテスト・問題等を確実に実施する</p>	<p>○事案に対して教職員が組織的・系統的に動けるよう、学校の実情に即したマニュアルを作成する。 ○年間を通して計画的に行うことと、事象・事案に対して緊急に進めることを整理・勘案し進めていく。 ○保護者や地域に情報を早く正確に伝えることに努め、理解と協力を仰いでいく。</p>
指標	<p>学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている」⇒『思う方』の回答75%以上</p>	<p>図書室への総来室者数⇒前年度を維持</p>	<p>2018年実施の全国学力・学習状況調査の結果⇒和歌山県の平均に近付ける</p>	<p>学校評価アンケート項目「学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを十分行っている」⇒『思う方』の回答85%以上</p>

◎・・・重点的に取り組むこと